

# 安曇野市ものづくり振興ビジョン(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)体系図

目標	基本戦略	施策	施策の方向性・取組内容
高い技術力で持続的に成長するまち 安曇野	1 地域を牽引するものづくり企業支援  地域経済を牽引するものづくり企業が変革する経済情勢に適応して持続的に成長し続けることができるように支援体制を整える。	1-1.地域牽引企業の育成と支援	1-1 地域外から仕事を獲得し、市内企業へ展開するような地域の牽引企業を支援するために、支援機関等と連携します。 ●支援機関等と伴走型支援体制を構築 ●地域牽引企業の生産設備導入に対する補助
		1-2.地域内支援機関による連携	1-2 地域内支援機関同士の目標や戦略を共有するとともに各支援機関の役割分担を明確化し、地域内企業の成長を支援します。 ●自治体や支援機関との情報交換機会の創出 ●安曇野市支援制度についてパンフレット・HPによる周知
		1-3.企業立地の支援	1-3 事業者の立場に寄り添い、企業立地に対して支援することで、市内企業の流出を防ぎ、新たな企業を誘致します。 ●適地適切な企業立地に係る庁内協議の実施 ●空き事業用地の利活用の促進(HPの定期的な更新、情報収集、提供) ●新たな産業団地の造成 ●各種補助制度の充実化
		1-4.グローバルニッチトップやその候補となる企業の育成と支援	1-4 国内外の市場でのシェア獲得を目指す企業の成長を支援します。 ●国内外展示会への出展補助、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)による企業PRの支援 ●海外出展に関する知識向上セミナーの開催 ●海外展開を目指す際の情報提供、支援機関への橋渡し
	2 企業の経営基盤・生産性の強化  企業の緊急事態への対応力向上、デジタル化、SDGsへの取り組み及び生産性向上に資する企業活動を支援する。	2-1.継続的な企業活動確保に向けたBCP策定支援	2-1 災害発生時などの緊急事態における早期復旧やリスク回避を支援します。 ●BCP策定に向けた啓発活動の実施及び相談体制の構築 ●策定方法の案内・先行事例の紹介等BCPに関するセミナーの開催
		2-2.情報通信技術の利活用、DX推進による生産性向上支援	2-2 ICTの利活用による効率的生産や流通・販売の合理化、DX推進による新製品・新サービスの創出や生産性向上、ビジネスモデルの変革を支援します。 ●ICT導入促進・DX推進に資するようなセミナーの開催 ●DXによるビジネスモデル変革の先進事例の紹介 ●DX推進に資するような補助事業の検討
		2-3.SDGsへの取り組みによる企業価値の増大	2-3 SDGsの取り組みによって、企業の持続可能性等の企業価値増大に資するような活動を支援します。 ●SDGs取り組み事例の紹介 ●SDGs導入プロセス研修会の開催
		2-4.カーボンニュートラルへの取り組みによるコスト削減と信頼性向上	2-4 省エネが期待できる新規設備導入によるコスト削減とカーボンニュートラルの取り組みにより選ばれる企業への転換を支援します。 ●省エネ効果が見込まれる生産設備の導入を支援 ●サプライチェーンにおけるカーボンニュートラルの必要性に関する研修会の開催 ●市場・社会からの環境要請に対応した循環性の高いビジネスモデルの事例紹介
	3 産業間連携による新たな価値の創造  産業間連携により新たに創造される製品やサービスによって新市場開拓・新分野進出を目指す。	3-1.産業間連携による新技術・新製品開発及び新分野進出支援	3-1 産業間連携により地域資源を活用した新製品や新技術開発を支援します。 ●新製品・新技術開発に係る費用に対する補助 ●支援機関等と伴走型支援体制を構築 ●支援機関への橋渡し
		3-2.企業間連携強化	3-2 企業同士の連携により中核企業から仕事を獲得し、地域全体での売り上げ増につながるよう支援します。 ●地域内企業同士のネットワーク構築のための情報交換機会の創出 ●地域中核企業等で開催する出張展示会への地域中小企業の出展支援 ●企業間連携による製品・サービス等の開発促進支援
		3-3.技術・製品等のPR強化	3-3 市内企業が展示会等へ出展した際に製品やサービスを来場者に訴求できるようにプレゼンテーション能力向上を支援します。 ●外部講師を招いてのプレゼンテーション講座の開催 ●新分野進出を目指す企業に対する展示会等出展補助制度の案内 ●展示会出展や訪問の際に専門家によるアテンド支援
	4 ものづくり技術を継承する人材の確保と育成  企業が持続的に成長するために必要不可欠なものづくり人材を確保し、技術を継承できるように育成する。	4-1.企業の人材確保支援	4-1 若年層のUターン及び移住促進による生産年齢人口の確保を推進します。 ●合同就職説明会の開催及び参加促進 ●就業・創業・移住定住に寄与する補助制度の構築 ●インターンシップ実施に対する支援の検討
		4-2.企業の次世代を担う人材育成	4-2 経営力や技術力・デザイン力といった企業を支える力を持つ次世代を担う人材の育成を支援します。 ●次世代経営者を対象とした「次世代経営者育成塾」の開催 ●製造現場で主力になるような人材・専門知識を持った人材の育成 ●創業を目指す人を対象とした「創業実現セミナー」の開催
		4-3.潜在労働力の掘り起こし	4-3 子育て中の方や外国人、シニア層などの潜在的労働力を掘り起こし、人材が不足している企業での活用を支援します。 ●企業側の受け入れ環境整備に向けた情報提供 ●職業紹介事業者との連携の検討 ●人材育成教育の実施

支援機関：安曇野市商工会・安曇野工業会・公益財団法人長野県産業振興機構・長野県工業技術総合センター 等

## 計画実施における指標

### ① 製造品出荷額等

令和7(2025)年度 5,193 億円 (令和元(2019)年度 4,593 億円)

### ② 製造業一人当たり労働生産性

令和7(2025)年度 1,652 万円/人 (令和元(2019)年度 1,495 万円/人)

### ③ 粗付加価値額(従業員4人以上の事業所)

令和元(2019)年度から令和7(2025)年度までの粗付加価値額の伸び率 21%(年平均 3%)  
(平成 25(2013)年度から令和元(2019)年度までの粗付加価値額の伸び率 30.79%)  
(平成 30(2018)年度から令和元(2019)年度までの粗付加価値額の伸び率 -14.72%)

### ④ 市内事業所数

令和7(2025)年度 210 事業所 (令和 2(2020)年度 206 事業所)

### ⑤ 展示会新規出展企業数

令和9(2027)年度までに新規で市補助制度を活用して展示会に出展した企業数 10 社(累計)  
(令和4(2022)年度に新規で市補助制度を活用して展示会に出展した企業数 3 社)

### ⑥ 市内製造業への就職者数(高等学校卒業時)

令和8(2026)年度末に市内製造業へ就職した人数 40 人  
(令和 2(2020)年度末に市内製造業に就職した人数 41 人)

### ⑦ 市補助制度「新製品・新技術開発支援事業」又は、産業連携関係補助制度の活用件数

令和9(2027)年度までに市補助制度を活用した件数 15 件(累計)  
(令和 4(2022)年度に市補助制度を活用した件数 2 件)  
(令和 3(2021)年度に市補助制度を活用した件数 3 件)

※計画期間最終年度(令和9(2027)年度)の実績を評価する令和 10(2028)年度に実績が確認できる数値を目標として設定しています。

## 推進体制・進捗管理

**推進体制:**本ビジョンの推進にあたっては、施策・取組を推進する市を中心として、国や県、他市町村、産業支援機関等、地域金融機関、大学等の教育機関などと連携を図ります。市はこれら各機関と市内ものづくり企業とを結ぶハブとしての機能を担うほか、各機関の支援事業がより効果的に機能するように調整を図り、施策・取組を推進します。

各主体が担う役割	
安曇野市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基本戦略に基づく、施策や取組を主体的に推進する</li><li>● 連携先を結ぶハブ機能を担い、効率的な事業展開を図る</li></ul>
市内企業	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社の中核事業において地域牽引企業やグローバルニッチトップを目指す</li><li>● 世界的企業から必要とされるパートナー企業になることを目指す</li></ul>
支援機関	<ul style="list-style-type: none"><li>● 企業のニーズを丁寧に把握し、市と連携しながら施策を実施</li><li>● 支援内容や体制を整え、効率的な支援を実施する</li></ul>

**進捗管理:**Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(評価検証)⇒Action(改善)の「PDCA サイクル」を実施し、本ビジョンを効果的・効率的に推進していきます。

市内企業の置かれている状況は刻一刻と変化しており、時代の潮流に取り残されないためにも必要に応じて施策や取組内容の見直しを行います。

発行 安曇野市 編集 安曇野市 商工観光スポーツ部 商工労政課  
〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地  
TEL (0263)71-2000(代) FAX (0263)72-1340  
E-mail shokorosei@city.azumino.nagano.jp

# 安曇野市ものづくり振興ビジョン

## 【概要版】

### 基本目標

## 高い技術力で持続的に成長するまち 安曇野

市内企業が高い技術力を生かし、新製品・新技術の開発や新市場開拓を実現することで、これまで培ってきた技術を次世代に繋ぎ、さらに伸ばすことで持続的に成長して世界市場から求められる地域となることを目指します。

### 基本戦略

基本目標である「高い技術力で持続的に成長するまち 安曇野」を実現するために4つの基本戦略を立案し、実行します。

1. 地域を牽引するものづくり企業支援
2. 企業の経営基盤・生産性の強化
3. 産業間連携による新たな価値の創造
4. ものづくり技術を伝承する人材の確保と育成

### 安曇野市ものづくり産業の課題

市内ものづくり企業へのアンケート調査及び支援機関、一部企業へのヒアリング調査の結果から以下の課題が明らかになりました。

1. 緊急事態における早期復旧やリスク回避体制の整備の遅れ
2. 企業価値増大に資する取組、新規事業展開に向けた取組が不十分
3. 慢性的かつ深刻な人材不足
4. 地域内連携の強化、地域外への訴求
5. 生産性向上等に向けた設備入替の実施、企業立地支援

### 本ビジョンの位置づけ・計画期間

本ビジョンは、上位計画である「第2次安曇野市総合計画 後期基本計画」と整合性を図り、本市のものづくり振興の分野別ビジョンとして位置づけます。

計画期間: 令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

